

第1章. 原始・古代オリエント世界

〔1〕化石人類・新人

(1) 猿人(約500万年前)

・直立歩行・礫石器の使用

* アウストラロピテクス…南アフリカで発見(20C)

(2) 原人(約180万年前. 更新世中期)

・握斧(ハンド=アックス)・言語・火の使用

* ジャワ原人(直立猿人)…ジャワ島で発見(19C)

* 北京原人…周口店で発見(20C)…火の使用

(3) 旧人(約20万年前. 更新世後期)

・剥片石器の使用・埋葬の風習

* ネアンデルタール人…ドイツで発見(19C)

(4) 新人(現生人類. 約4万年前. 更新世末期)

① 骨角器の使用・弓矢による狩猟

② 洞窟美術…アルタミラ(スペイン. 19C)・ラスコー(フランス. 20C)

* クロマニオン人…南フランスで発見(19C)

* 周口店上洞人…周口店で発見(19C)

〔2〕先史時代(石器時代)から歴史時代(金属器時代)の社会

(1) 社会の発展…狩猟など獲得経済 ⇨ 農耕など生産経済 ⇨ 文明の発生

(2) 旧石器時代(打製石器. 500万年前～)…更新世(洪積世)

① 獲得経済…狩猟・採集・漁労による生活

② 礫石器などの使用・洞穴生活…猿人～新人

③ 弓矢や骨角器の使用・洞窟美術…新人

(3) 新石器時代(磨製石器. 1万年前～)…完新世(沖積世)

① 生産経済…農耕・牧畜による生活(イラクに最古の農耕遺跡)⇨ 村落の形成

② 磨製石器・骨角器・彩文土器の使用・竪穴住居

(4) 金属器時代…青銅器時代 ⇨ ⇨ ⇨ ⇨ ⇨ 鉄器時代

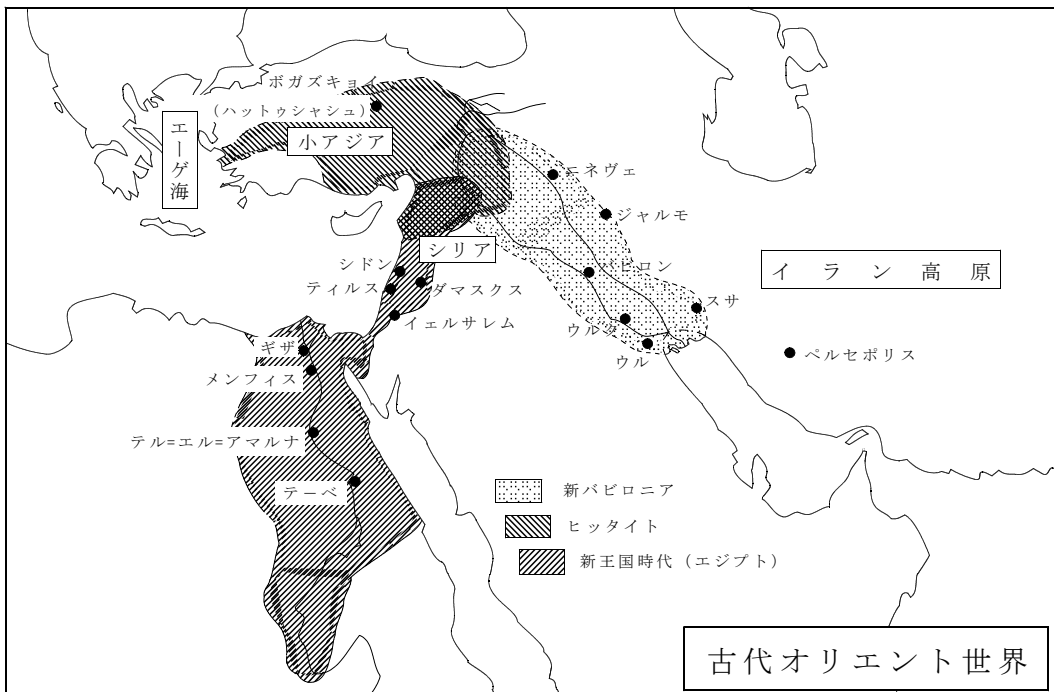
① 村落(灌漑農業)⇨ 都市国家(部族国家)⇨ ⇨ ⇨ ⇨ 四大文明

② 階級社会・貧富の差・支配者の出現

③ 文字の発明…先史時代から歴史時代へ

[3]人種・民族・語族

- (1) 人種・・・人類を皮膚の色・身体的特徴などにより分類
- (2) 民族・・・人類を言語・宗教・社会経済・風俗習慣などにより分類
- (3) 語族・・・同一起源の言語から分かれて発達した言語により分類



〔4〕古代エジプト文明

(1) 文明の特色 “ 青銅器文明 ”

- ① ナイル川 下流域(古王国)・中流域(中・新王国)に形成
- ② 閉鎖的地形(周囲は砂漠と海)・・・異民族の侵入・征服を受け難い地形
- ③ 「エジプトはナイルの賜物」(ヘロドトス. 前5C)

(2) 統一王朝

① 王朝の成立・・・エジプト人 <ハム系>

- ・ノモス(部族国家)の形成 ⇨ 統一王朝の成立(前3000頃)
- ・ファラオ(エジプト王)による神権政治
- ・身分社会・・・ファラオ(太陽神ラーの子)・貴族(官吏・神官)・平民(税の負担・労働)・奴隷

② 古王国〔前27C～前22C〕 都 メンフィス

- ・ピラミッド時代(第4王朝)
- ・クフ王など3大ピラミッドの建設(ギザ)

③ 中王国〔前22C～前18C〕 都 テーベ

- ・アモン(テーベの守護神)崇拝
- ・中王国滅亡後 ⇨ ヒクソス(セム系中心)の侵入
- ・シリアより馬・戦車の装備で侵入し、エジプトを支配(前17C～前16C)

④ 新王国〔前16C～前11C〕 都 テーベ

- ・ヒクソスを撃退・王国再建
- <第18王朝>
- ・エジプト世界帝国(最大領土)形成(前15C)
- ・アメンホテプ4世(位 前14C. イクナートンに改名)
- ・宗教改革・・・アトン神(一神教)を強制
- ・テル=エル=アマルナ(アケタトン)へ遷都 アマルナ美術(写實的)

(3) アッシリア帝国の侵入・支配(前671)

- ・四王国時代(前612～前525)・・・エジプト独立

(4) アケメネス朝ペルシアによる侵入・支配(前525)

〔5〕古代メソポタミア文明

(1) 文明の特色

- ① “肥沃な三日月地帯” …… 農耕文明の成立地帯
 - ・メソポタミア(ティグリス・ユーフラテス川流域) ← シリア・パレスティナ
- ② 開放的地形・肥沃な土地 …… 諸民族(遊牧民)の興亡

(2) 都市国家の形成と統一国家の成立

- ① シュメール都市国家〔前3100頃〕 “青銅器文明”
 - ・シュメール人 <民族系統不明>
 - ・都市国家(神殿中心)形成
 - ・ウル・ウルク など …… 固有の守護神を持つ各都市は個々に独立し、抗争を続けた
 - ・神権政治(王は最高の神官を兼任)・楔形文字の使用
- ② アッカド王朝〔前24C～前23C〕
 - ・アッカド人 <セム系>
 - ・初めてメソポタミアを統一し、最初の統一王朝を建設(前24C)
- ③ 古バビロニア王国〔前19C～前16C. バビロン第1王朝〕 都 バビロン
 - ・アムル人 <セム系>
 - ・ハンムラビ王(位 前18C) …… メソポタミアを統一
 - ・『ハンムラビ法典』制定 …… 同害報復の復讐法・身分による刑罰差
 - ・ヒッタイトの侵入で崩壊(前16C)

〔6〕インド=ヨーロッパ語族の移動

- ① ヒッタイト王国〔前18C～前12C〕
 - ・ヒッタイト人 …… 小アジアに建国
 - ・鉄製武器の使用(オリエント初) ⇨ 古バビロニア王国を征服
 - ・「海の民」の侵入により崩壊(前12C)
- ② ミタンニ王国〔前16C～前13C〕 メソポタミア北部 を支配
- ① カッシート王国〔前16C～前12C〕 メソポタミア南部 を支配

[7]セム語族の活動 (東部地中海沿岸に建国)

①アラム諸小王国〔前12C～前8C〕

・アラム人…**ダマスクス**(シリア地方)を中心に**内陸貿易**に活躍

・アラム語(西アジア国際商業語・共通語)の使用

②フェニキア海港都市国家〔前12C～前8C〕

・フェニキア人…**シドン・ティルス**などの海港都市国家を建設し、**地中海交易**に従事

・地中海貿易の覇権をギリシア人と争う

・植民市**カルタゴ**(本国ティルス)の繁栄

・フェニキア文字(表音文字)をギリシアへ伝える ⇨ **アルファベットの起源**となる

③ヘブライ王国〔前11C～前10C. **パレスティナ**] 都 **イエルサレム**

・ヘブライ人…パレスティナ定住派

<移動期> エジプト移住派…**モーセ**による「**出エジプト**」⇨ パレスティナ

・ヘブライ王国…**ダヴィデ王・ソロモン王**(親子2代. 前10C) “**最盛期**”

・分裂(ソロモン王の死後)

・<北> **イスラエル王国…アッシリア**に滅ぶ(前722)

・<南> **ユダ王国…新バビロニア**に滅ぶ(前586)

・**バビロン捕囚**(前586～前538)

・**アケメネス朝**による解放 ⇨ **イエルサレム**に神殿再興・**ユダヤ教** 成立

・**ユダヤ教…唯一神ヤハウェ(ヤーヴェ)**への信仰

・**選民思想…ヤハウェの契約**を守るヘブライ人のみが救われるという排他的思想

・**戒律主義…「モーセの十戒」**の遵守などを中心とする立法主義

・**メシア(救世主)の待望…民族的苦難**からヘブライ人を救済し、神の国の実現を待望する思想

・『**旧約聖書**』…伝説・賛歌・預言者の言葉で構成(原典はヘブライ語)

〔8〕オリエントの統一

(1) アッシリア帝国〔前14C～前7C〕 都 ニネヴェ

①アッシリア <セム系>

- ・ミタンニ王国に一時期服属(前15C)⇨ 独立(前14C)・領土拡大(前12C)
- ②全オリエント統一(前7C前半)・・・エジプト征服して達成
- ③過酷な支配に対する諸民族の反乱から滅亡(前7C後半)

(2) 四王国時代(前612～前525)

①リディア <印=欧系>・・・小アジア

- ・世界最古の鑄造貨幣の使用 ⇨ ギリシアなどに影響

②新バビロニア(カルデア)<セム系>・・・メソポタミア 都 バビロン

- ・ユダ王国を征服 ⇨ バビロン捕囚(前586～前538)

③エジプト <ハム系>

④メディア <印=欧系>・・・イラン

(3) アケメネス朝ペルシア〔前550～前330〕 都 スサ ⇨ ペルセポリス

①ペルシア人 <印=欧系> ゾロアスター教(拝火教)信仰

②キュロス2世(位 前6C)

- ・メディアから独立・建国 ⇨ リディア・新バビロニアを征服
- ・新バビロニア征服時・・・バビロン捕囚からヘブライ人を解放

③エジプト征服(前525)⇨ 全オリエント支配

④ダレイオス1世(位 前6C)・・・新都ペルセポリスの造営 “最盛期”

- ・エーゲ海北岸からインダス川に及ぶ大帝国を形成
- ・中央集権体制・・・全土を約20州に分割
 - ・サトラップ(知事)が州の行政・徴税を担当
 - ・王の目・王の耳(監察官)によるサトラップの監督
- ・王の道(軍用道路)・駅伝制を整備
- ・寛容な政治・・・ヘブライ人のユダヤ教信仰・フェニキア人の貿易奨励など
- ・ペルシア戦争(前500～前449)での敗北
- ⑤アレクサンドロス大王のペルシア遠征(前334～前324)により滅亡(前330)